

思春期の健康の不安を拭うきっかけに 心の病について理解深める

全校生徒を対象とした思春期健康講話が8月24日、葛巻高校体育館で行われました。

この日は、心の病気や気持ちがつらくなったとき、どう生き延びるかをテーマに講演。講師を務めた未来の風せいわ病院理事長の智田文徳医師は、日本の10代で自殺による死亡者が多く、原因として心の病気が多いことを挙げ「心に生じる問題は自分自身で気付きにくいもの。誰かがふとした異変に気付いてあげることが大事」と説明しました。

苦しいときは周りの存在が大切であることを学んだ生徒からは「同年代の多くの若者が心の病気になっている現状をよく知ることができた」「周囲に悩んでいる人がいたら積極的に声を掛けてあげたい」などの感想が聞かれ、自己紹介などのグループワークを楽しみながら、思春期の心の病について正しい知識を身に付けていました。



1アイスブレイクとして生徒同士で自身のニックネームや出生地など自己紹介を行い楽しく交流2オンラインで行われた講話に生徒たちは熱心に耳を傾けました3自分自身を否定しない考え方の重要性を詳しく解説した講師の智田医師



▲普段の授業の様子を見学



▲学校紹介を受ける参加者

参加者は、学校紹介や山村留学の説明を受けたほか、授業見学や部活動を体験。学習塾ではインターンとして参加していた卒業生との交流を通じて、高校生活を間近に感じ、葛巻での暮らしをイメージしていました。その後、山村留學生寄宿舎を見学し、寮生とのレクリエーションや夕食の時間に交流。寄宿舎での生活について熱心に質問するなど、親睦を図りながら理解を深めた様子でした。

参加者が山村留学への思いについて質問し、鈴木町長は「山村留學生としての3年間は、必ず成長のきっかけとなる。安心して来てほしい」とアドバイスをしました。参加者からは「葛巻でしか味わえない山村の魅力を感じた」「先輩が優しく受け入れてくれた」などの感想が聞かれ、葛巻での高校生活や寄宿舎での暮らしに期待を膨らませていました。



▲興味のある部活動を体験

くずまき山村留学オープンスクール 自分の未来を考える2日間に

8月21日と22日の2日間、くずまき山村留学オープンスクールが行われ、町外中学生3人とその家族が参加しました。

参加者は、学校紹介

や山村留学の説明を受けたほか、授業見学

や部活動を体験。学習塾ではインターンとして参加していた卒業生との交流を通じて、高校生活を

親族や知人の皆さんに
情報提供をお願いします

いわて・くずまき 山村留学という選択

令和9年度くずまき山村留學生を募集します



山村留學生募集情報

■募集定員

12人

■対象者

- ①葛巻高校への入学を希望し、保護者の承諾を得られる者
- ②高校生として自覚を持って規則などを守り、心身ともに健康で自立した生活を送ることができる者

■申込方法

在学中学校長を通じて、必要書類を町教育委員会事務局こども教育課に郵送または持参により提出

■申込期限（必着）

10月31日（土）

※詳しくはお問い合わせください。

図こども教育課 ☎65-8989

前期末考査が終わり、学校全体が葛高祭に向けて準備を始めています。今年もクラス企画や郷土芸能、音楽、総合的な探究の時間での取り組み発表など、多彩な企画を予定しています。



▲体育館ステージで葛巻神楽を練習

高校生記者



レポート

今月号の担当は…

上館 陽菜 さん（2年）

寒暖差が大きくなりましたね。皆さんも体調に気を付けてお過ごしください。

長（2年）は「葛巻神楽の魅力が伝わるよう頑張ります」と意気込みを語っていました。当日はこれまでの準備や練習の成果を発揮できるように、学校全体で協力して盛り上げていきます。私たちの活動をぜひ見に来てください！